

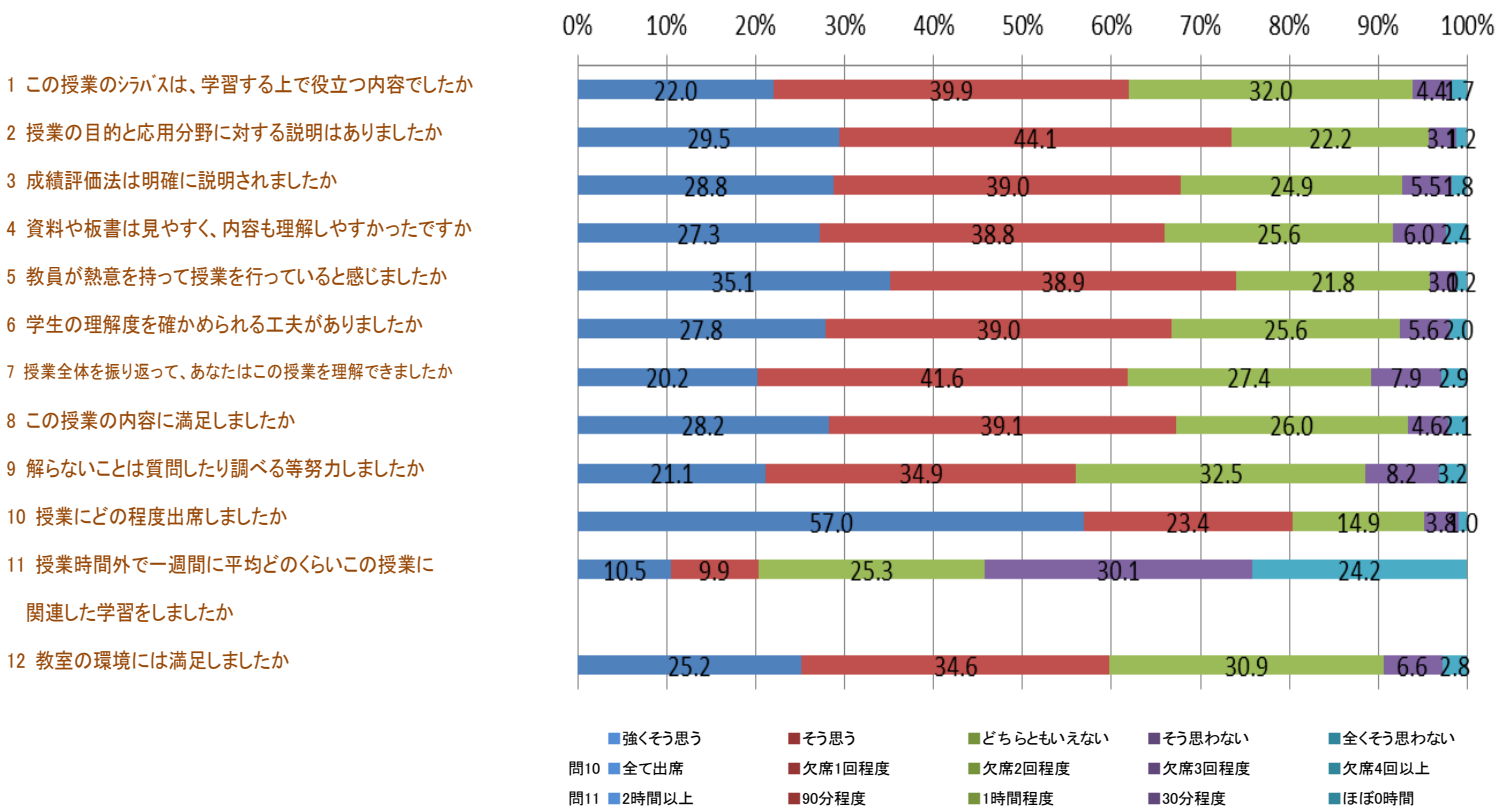
2017 年度後期 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 16

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2018年1月5日～2月2日の期間、学部と研究科で後期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。ご協力大変ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

URL : <https://www.sd.tmu.ac.jp/campuslife/questionnaire.html>

システムデザイン学部(対象授業科目数 91 のうち 71 科目からの回答)



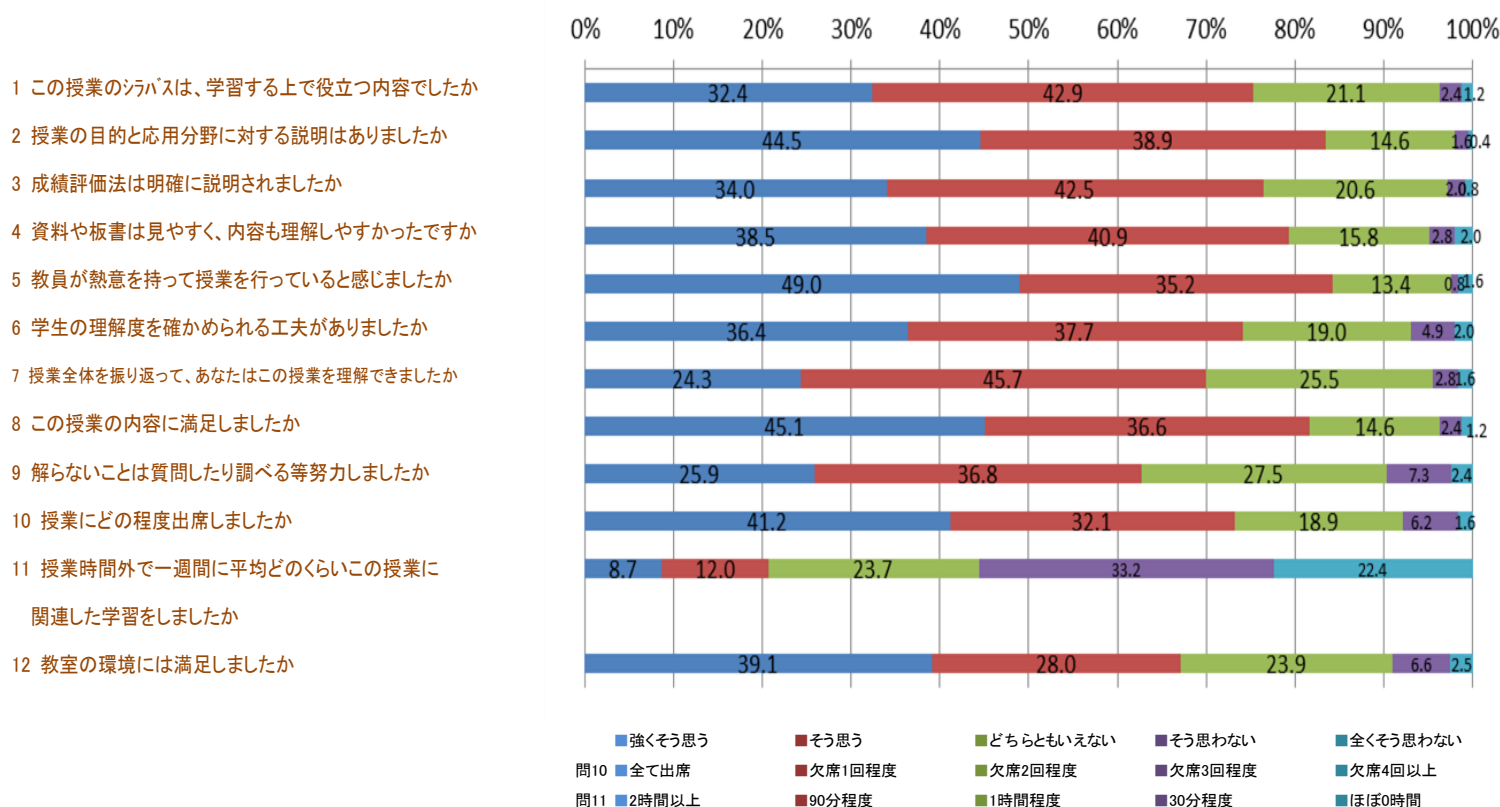
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・ゲスト講義がとても面白くモチベーションになった。実用なことを多く教えてもらいとてもためになった。
- ・とにかく色々な情報を提供してくれる点。面白い背景や知識も教えてくれるので、気になったものを自分で調べたりできて良かった
- ・聞くだけの一方的な授業が多かったので、話し合うような場があってもいいと思いました。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・各回ごとに課題提出を課し、実践時間の確保、理解度の確認を行った。
- ・パワーポイントを使って説明し、なるべく画像・図を多用し、わかりやすくした。各講義の最初にその日のテーマを示し、わかりやすくした。

システムデザイン研究科(対象授業科目数 34 のうち 25 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・電卓がわりにプログラミングを使うのは勉強になった
- ・世界のニュースに対して視野が広がり、よく理解できるようになった。考えることが多いのが特に自分の身になった。
- ・スライドをあらかじめ頂ければ、話は聞きやすくなると思いました

▶ 授業担当者からのコメント

- ・宇宙で使用される実物を見せることで興味を持たせて授業を行った。
- ・学生に対して質問を行い、理解度や、課題を深るように努めた。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2017 年度後期「授業アンケート」へのご協力ありがとうございました。各設問の集計結果からは授業全体の傾向が、自由記述欄のコメントからは学生それぞれの受け取り方が浮かび上がってきます。寄せられたアンケートは回答者個人を特定することなく集計された後、コメントは無記名で教員にフィードバックされ、今後の授業をより良いものにしていくために活用されます。大学では近年アクティブ・ラーニングの導入などの結果、一方向でなく双方向的な授業が増えています。多様な声にも耳を傾けながら、今後も教職員一同いっそう FD 活動に取り組んでいきます。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2018 年 7 月 17 日